

(参考) 関係用語集

あ)

ICT 機器

情報通信技術（ICT : Information and Communication Technology）を活用し、家畜の状態をパソコンやスマートフォン等へ伝達する機器。畜産分野では、牛の行動や体調を自動で記録・分析し、生産性の向上や省力化等に役立てるために利用されている。（例）遠隔監視システム、牛群管理システム、発情・疾病検知システム、分娩監視システム等

アニマルウェルフェア

家畜が快適で健康的に生活できるよう配慮する考え方で、「5つの自由」（飢え・渇き、苦痛、恐怖等からの自由）を基本とする。家畜を快適な環境下で飼養することにより、動物のストレス・疾病の軽減と生産性向上の両立を目指す取組が進められている。

稲発酵粗飼料（稲 WCS）

稲の実が完熟する前に、実と茎葉を一体的に収穫し、乳酸発酵させた飼料。稲ホールクロップ・サイレージ（稲 WCS）とも呼ばれる。水田の有効活用と飼料自給率の向上に資する飼料作物として、作付面積が拡大している。

エコフィード

食品残さ等を有効活用した飼料。環境にやさしい（ecological）や節約する（economical）等を意味するエコ（eco）と飼料を意味するフィード（feed）を併せた造語。

枝肉

牛、豚等をと畜して、頭、皮、内臓等を取り除き、骨付の状態で、左右に分割した状態の肉。

か)

GAP

Good Agricultural Practices（農業生産工程管理）の略。畜産分野における GAP とは、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のことを指す。

牛房群飼

複数頭の牛を1つの牛房にまとめて飼育する方式。

コントラクター

畜産農家等から、飼料作物の収穫作業等の農作業を受託する組織。高齢化や飼養規模の拡大による労働力不足に対応するとともに、高性能機械の活用等による作業の効率化・収穫量の増加等に貢献。

さ)

搾乳ロボット

人に代わり牛の乳を自動で搾乳する機械装置。牛が自由に搾乳ステーションに入り、自動で乳房を検知・装着し、搾乳から乳量データの記録まで行う。省力化や労働負担軽減に加え、個々の牛の健康管理や乳質管理にも役立つ。

スマート農業技術

ICT や AI、センサー、ロボット等の先端技術を活用し、生産性の向上や作業負担の軽減を図る手法。牛の健康管理、飼料管理、環境制御等をデータに基づき自動化・最適化し、生産性の向上や省力化等に役立てるために利用されている。(例) 各種 ICT 機器、搾乳ロボット、哺乳ロボット、餌寄せロボット、横断換気ユニットシステム等

集送乳

酪農家が生産した生乳をミルクタンクローリーにより集め（集乳）、その集めた生乳を乳業工場に輸送（送乳）すること。

受精卵移植技術

優れた能力を持つ家畜から作出した受精卵を、他の家畜の子宮内に移植して優れた家畜を効率的に生産する技術。乳用牛に和牛受精卵を移植することにより、和牛子牛を生産することも可能。

飼料用米

家畜の飼料として利用される米。稲発酵粗飼料とは異なり、茎葉は利用せず、粳のみを活用する。

スタンション

牛の首部を固定する装置。主に繋ぎ飼い牛舎で使用されるが、放し飼い方式の給餌柵等にも利用される。個体別給餌や発情・異常の早期発見、個体間の競合防止等、管理面で多くの利点がある。連動スタンションは、複数のスタンションを連結し、開閉を一元的かつ同時に行うことができるシステムのこと。

た)

堆肥

有機物を含む材料を、酸素が十分にある条件下で微生物の作用により発酵・分解させ、成分を安定させたもの。土壌改良資材や肥料として利用される。家畜の排せつ物を堆肥化する場合は、水分含量の調整と通気性の確保が必要となるため、もみがらやおがくず等の副資材を混合して、適宜攪拌を行うことが重要。

畜産クラスター

畜産農家と地域の畜産関係者（コントラクター等の支援組織、流通加工業者、農業団体、行政等）がクラスター（ぶどうの房）のように、一体的に結集することで、畜産の収益性を地域全体で向上させるための取組。

畜産コンサルタント

畜産農家に対して飼養管理、繁殖、飼料計画、衛生管理、経営改善などの専門的助言を行う専門職。最新技術や市場情報等を活用し、生産性向上や経営の持続性を支援する役割を担う。

長命連産性

母牛が多くの子牛を産み、長期間にわたり生乳を生産する能力のこと。長命連産性の高い乳牛は繁殖性に優れ、乳房炎等の疾病にかかりにくく、肢蹄が強健である等の特徴があり、結果として生産寿命が長くなる。

つなぎ飼い

繋留方法によって呼び方が異なり、ロープやチェーン等で繋留するタイストール、牛体頸部をスタンションにより緩やかに挟んで繋留するスタンションストール等がある。個々の牛について作業者の目が届きやすいことが特徴。

TMR

Total Mixed Ration（完全混合飼料）の略。粗飼料、濃厚飼料、添加物等を混合し、牛が必要とする全ての栄養素をバランス良く含んだ飼料。栄養的に均一で選び食いができないという特長がある。調製には専用の機械が必要。

は)

パイプライン

搾乳機（ミルクカー）により搾った生乳を牛舎や搾乳室に配管されたパイプを通じて冷却装置（バルククーラー）に送り、冷却・貯蔵する方式。この配管そのものを指す場合も

ある。

HACCP

Hazard Analysis and Critical Control Point（危害分析重要管理点）の略。最終製品の抜き取り検査を中心とする品質管理方法とは異なり、原材料から加工・包装・出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題点を検討し、その発生を防止又は減少させる管理方式。農場 HACCP は、畜産農場における衛生管理を向上させるため、危害要因（微生物、化学物質、注射針の残留等異物等）を防止するための管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことで、農場段階でこれらの危害要因をコントロールする手法である。

発情発見装置

母牛の発情（受胎可能な状態）を自動的に検知する機器のこと。行動量や体温、活動パターン等をセンサーで測定し、発情の兆候を農家に通知する。繁殖管理の効率化や受胎率向上に役立つ。

フリーバーン

牛を繋留せず、自由に歩き回らせる放し飼い方式の牛舎の一種。個体ごとに仕切らず、牛が自由に休息・採食・運動できるため、ストレス軽減や健康維持に優れており、アニマルウェルフェアの観点からも推奨される管理方式である。

分娩監視装置

母牛の分娩の兆候を自動的に検知し、農家に通知する機器。体温変化や活動量、胎子の動き、破水等をセンサーで感知し、分娩のタイミングを把握できる。夜間や不在時の見回り負担軽減、異常分娩の早期対応に役立つ。

分離給与

粗飼料と濃厚飼料等を別々に給与する方式のこと。特殊な機械や設備を必要とせず、古くから行われてきた給与法。

哺乳ロボット

子牛への哺乳を自動で行う装置。哺乳量や回数等を個体ごとに管理でき、哺乳作業の省力化や、子牛の成長促進に役立つ。

ま)

ミルカー自動離脱装置

搾乳機（ミルカー）が牛の乳房から自動で安全に外れる装置のこと。過搾乳や乳頭の

損傷を防ぎ、牛の健康維持と搾乳作業の効率化に役立つ。

ミルクタンクローリー

酪農家で搾乳された生乳を回収し、牛乳工場等へ運搬する特殊な車両。タンク内部は冷却・衛生管理が施されており、輸送中も生乳の鮮度と安全性が保たれる。複数の牧場を巡回することが多く、生乳流通において重要な役割を担っている。

や)

預託牧場

農家の乳用牛または肉用牛を預かり、飼養管理や繁殖等を代行する牧場のこと。農家の労働負担軽減や、飼養場所の確保等を目的として運営される。

ら)

酪農ヘルパー

酪農家が休日を確保したい場合や突発的なトラブルが発生した場合等に、農家に代わって牛の飼養管理や搾乳等を行う専門職。